

平成23年度ORD総会	1~2
新会員紹介 マナック(株)	3~4
技術促進委員会「見学会」レポート	5
会員企業ご出展展示会報告	6

編集：企画広報部会 事務局：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東1丁目10番25号(奥野製薬工業(株) 企画開発部内)
TEL 06-6961-0886 FAX 06-6963-0740 E-mail info@ord.gr.jp URL http://www.ord.gr.jp

2011(平成23)年度

ORD総会報告

総会プログラム

開催日	2011(平成23)年6月10日
会場	大阪国際会議場(グランキューブ大阪) 11F 1102会議室
総会	13時30分~14時30分
基調講演	15時00分~16時45分
懇親会	17時00分~18時30分

総会

平成23年度の総会はプログラム通り、グランキューブ大阪において、大阪府商工労働部から棗課長、他2名の来賓をお迎えし、奥野代表幹事の挨拶から始まりました。主な議題は、議案1:平成22年度事業実績及び収支報告について、議案2:平成23年度事業計画及び収支予算について、議案3:役員改選などが諮られ、提案通り承認されました。その他企画広報部会・松浦会長の挨拶と製品開発委員会・藤川運営委員長および技術交流委員会・伊場田運営委員長による委員会報告がありました。最後に大阪府商工労働部から来賓で出席された高木様より商工労働部が推進する、ものづくりビジネスセンター大阪(MOBIO)の紹介とMOBIOが

主催する行事への参加要請がありました。平成23年度の総会には、これまでで少なかった顧問やアドバイザーの方々も多く参加され、基調講演の講師もORD顧



商工労働部・棗課長



問の大阪府立大学経済学部・山本浩二教授にお願い出来たように、ORDと大阪府及び顧問・アドバイザーとの協力関係が強まる予感が得られた総会でした。

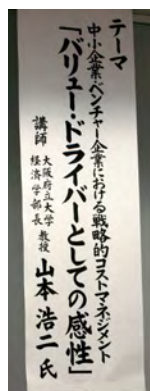


総会開催の挨拶をする奥野代表幹事



総会で挨拶と報告をする役員、左から、松浦企画広報部会長、伊場田技術交流委員会運営委員長、藤川製品開発委員会運営委員長。

総会の基調講演



ORD顧問の山本浩二教授は大阪府立大学、経済学部長を兼任しておられます。基調講演はORDメンバーに向かって「中小企業・ベンチャー企業における戦略的マネジメント～バリュー・ドライバーとしての感性～」との難しい主題でした。感性という単語があり、バリュー・ドライバーときいたので、一瞬たじろきましたが、先生は企業は価

値向上をベースとした経営をすべきとの主張を強くお持ちで、これからの日本、なにかずくものづくりを主体とする企業が多いORDメンバーは、経済的付加価値（EVA）などの業績評価尺度を重視すべきと熱くおかれた。内容を伝える紙面の余裕はないので、詳しくは配布されたテキストを参考にして下さい。役に立つこと間違いありません。



懇親会

基調講演終了後、グランキューブ大阪12階のグラントックにおいて懇親会が持たれました。



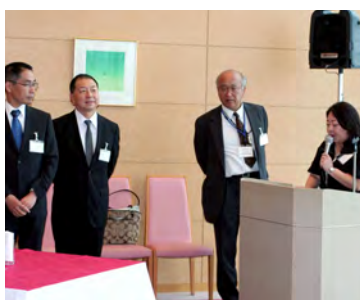
竹田大阪電通大教授



横井産総研業務推進部長



山本府立大学経済学部長



菊池清/セン特殊光源株式会社（記）

会 員 紹 介

マナック株式会社

会 社 概 要

代表取締役社長：杉之原祥二

設 立：昭和23年5月

資本金：17億5,750万円

従業員：188人（平均年齢：41.3歳）

事業内容：難燃剤、医薬品、動物用医薬品、食品添加物、写真感光材料、高機能性材料、染料、香料など様々な分野の先端技術産業に原材料を供給。

本社、研究所、工場：〒721-0956 広島県福山市箕沖町92番地

Tel：084-954-3330

Fax：084-957-4370

大阪営業所：〒541-0045 大阪府中央区道修町1-4-6ミフネ道修町ビル8階

Tel：06-6205-6771

Fax：06-6227-5978

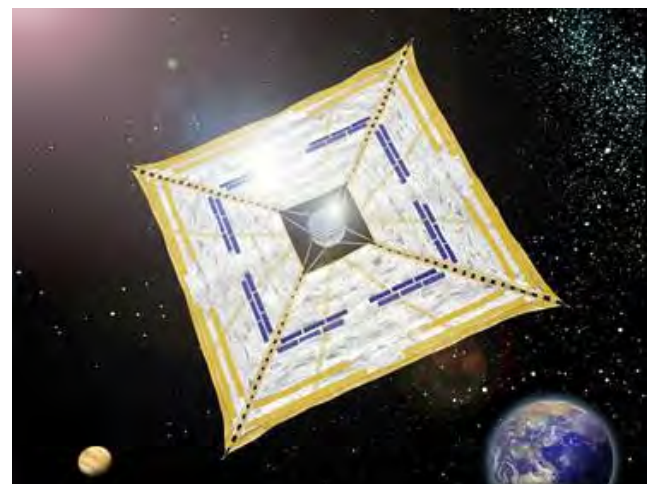
沿 革

弊社は、昭和23年、製塩時に副生する苦汁（ニガリ）の一貫処理を目的に、松永塩業組合から苦汁部門が独立、設立されました。昭和27年、写真感光材料の生産をかわきりに、臭素化合物の将来性に着目、昭和33年より写真薬品・試薬・医農薬・触媒・難燃剤・染料の各分野への供給をめざして技術開発に注力するとともに、昭和53年には箕沖工場を立ち上げ、生産体制を強化しました。これにより、今日では、国内外のファインケミカル分野において高い評価をいただいています。平成12年に東京証券取引所市場第二部に上場、平成16年には臭素と同族元素であるヨウ素の事業展開を目指し、合同資源産業株式会社・三井物産株式会社との合併会社「ヨード・ファインケム株式会社」を千葉県内に設立しました。また平成20年、機能性材料の用途開発のため千葉県君津市に用地を取得、かずさ研究室を移転しました。さらに平成21年、「八幸通商株式会社」の全株式を取得、平成23年、国際グループを設立しグローバル体制の構築を進めております。

トピックスI

（遠い将来、宇宙に・・・）

宇宙航空研究開発機構（JAXA）が実証研究中の小型ソーラー電力セイル実証機「IKAROS」（Interplanetary Kite-craft Accelerated by Radiation Of the Sun）のセイル（＝帆）に用いられるポリイミド樹脂フィルムに、マナックが開発した「新規オキシジフタル酸無水物（ODPA）」が使用されています。



提供：宇宙航空研究開発機構（JAXA）

マナック株式会社

「IKAROS」は太陽光を受けて宇宙航行することに加え、薄膜の太陽電池を貼り付けたソーラー電力セイルによる大電力発電を同時に行うという世界初の計画で、その重要なカギを握るのがセイル膜材料になります。セイルに用いられるポリイミド樹脂フィルムは、宇宙線に対する長期耐久性をはじめ、高い弾性・成形加工性や $7.5\mu\text{m}$ という超薄膜化が求められ、これに加え、太陽熱や紫外線などによる過酷な宇宙空間では接着剤の使用が困難なため、優れた熱可塑性・熱融着性が必須条件となります。

「IKAROS」は、2010年5月に鹿児島県の種子島宇宙センターから、H-IIAロケットにて金星探査機「あかつき」と相乗りで打ち上げられ、惑星間軌道上で帆を展開、帆行制御による帆だけの宇宙航行、薄膜太陽電池での発電の実証など、すべてのミッションを成功しました。「IKAROS」は今もなおその雄姿を掲げ大宇宙空間を航海中です。

また、「IKAROS#2」の計画が、8年後の打ち上げを目指し計画をされています。

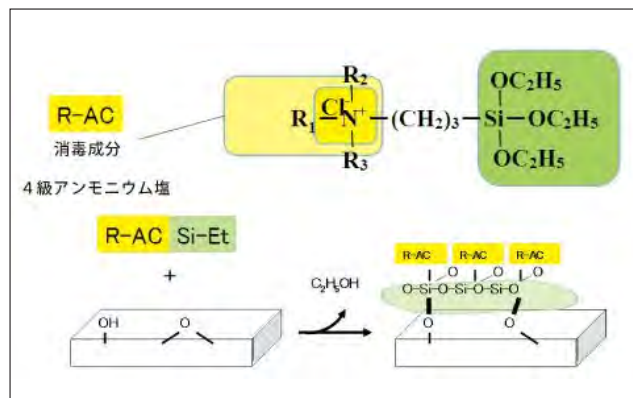
トピックスⅡ

(今、皆様の健康のために…)

広島大学と消毒薬「Etak」を共同開発しました。

「Etak」は4級アンモニウム塩を持つエトキシシラン系の新規化合物で、新型インフルエンザにも効力があり、繊維などに固定化できるため、長期間、抗菌効果が持続。また、人や動物には安全性の高い化合物です。

「Etak」で処理すると、グラム陽性菌（MRSA、表皮ブドウ球菌、セレウス菌等）・グラム陰性菌（大腸菌、O157等）を接触的に殺菌します。また、エンベロープを持つウイルスも不活性化し、インフルエンザウイルス（ヒト、トリ、豚（新型））、肝炎ウイルス、はしかウイルス、ヘルペスウイルスなどに有効と考えられます。



Etakの構造と固定化のしくみ

処理方法は簡単で、室温で「Etak」に浸すだけで容易に殺菌、さらに抗菌加工ができ、繊維に加工した場合、洗濯を40回行っても抗菌力が持続するという結果も出ています。

通常の消毒薬の場合、処理した時は有効ですが、その後に付着した菌やウイルスは、その表面で生きています。「Etak」が固定化した表面では、処理後に付着した菌やインフルエンザウイルスを接触的に殺菌、不活性化するため、効果が長期間持続します。

それほど強力な抗菌力を示しますが、マウスでの急性経口毒性がLD50値8,000mg/kg以上（通常2,000mg/kg以上で無毒と判断されます）など、高い安全性データが出ています。

現在、各分野に向けた応用展開を進めています。

終わりに

マナックは臭素化・ヨウ素化技術を核として、幅広い分野へ製品を供給しています。

マナックの製品開発のスタンスは、お客様の要望に応えるという大命題をクリアしながら、さらにその先の「もっと優れた製品をつくり続ける」という向上の姿勢にほかなりません。皆様のお仕事に、弊社の技術が活かせることができれば幸甚と存じます。

技術促進委員会「見学会」レポート

●日 時：2011年6月29日(水)

●訪問先：そうめんの里、株式会社日本触媒

初夏の暑い中、総勢24名にて旧大阪郵便局前よりバスにて出発し、兵庫県たつの市のそうめんの里にて見学及び昼食をすまし、姫路市の株式会社日本触媒、姫路工場を訪問いたしました。

そうめんの里は、西播磨地区伝統の手延べ素麺揖保乃糸の歴史、文化、味わいを紹介する資料館です。最初に入り口のところで、職人さんによる小引き作業、門干し工程という手作業で麺を伸ばす工程の実演がありました。その後、2階にて素麺の歴史、製造工程をガイドさんに説明していただきました。素麺は



約500年前の社殿の祝言の記録に登場したのが最初で、約200年前から庶民の食卓に並ぶようになったようです。また、揖保乃糸では素麺にランクがあり、赤帯→緑帯→紫帯→黒帯の順で高級になっていくことです。基本的に麺が細い方がのど越しが良く、高級とされているとのこと。案外、発見の多い資

料館でありました。当然、昼食は当資料館の食堂にて素麺料理を食しました。

午後より訪問しました、株式会社日本触媒様は、アクリル酸、高吸水性樹脂で世界のトップシェアを持つ（アクリル酸:55%、高吸水性樹脂:25%）、化学品製造業では大変有名な会社です。特に、姫路工場は（株）日本触媒様の主力工場で、その広さは90万平方キロメートル、主にアクリル酸、高吸水性樹脂を製造し、研究施設、直接、貨物船が着岸できる設備まで有しておられます。その広さのため工場紹介のビデオを見た後、バスにて移動しながら工場内を見学いたしました。化学プラント工場ですので複雑なパイプラインが所狭しと這い回り、その規模の大きさに驚嘆するばかりでした。その後の質疑応答では、年間メンテナンス費用、研究開発費、高吸水性樹脂の紙おむつへの採用秘話等、回答し難い質問に対し、近藤会長様、尾方工場長様、自ら真摯に本音でご回答していただきました。有難うございます。このような通常聞けないお話を聞けるのもORDの特徴ではないかと存じます。

最後に、大変お忙しい中、株式会社日本触媒 会長 近藤様、専務執行役員 姫路製造所長 尾方様をはじめ、ご対応していただきました皆様に感謝いたしますと共に、ますますのご発展とご多幸をお祈り申し上げます。

伊場田晶/旭テック株式会社(記)



会員企業ご出展の展示会報告

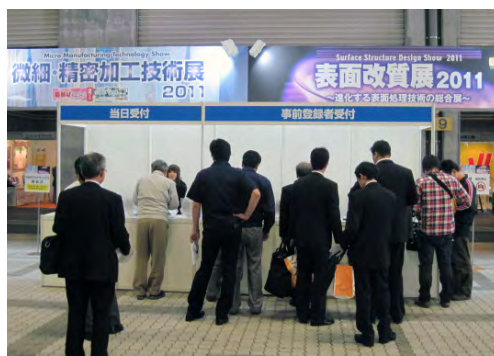
中小企業総合展2011 in kansai

5月25～27日インテックス大阪にて中小企業基盤整備機構主催の「中小企業総合展2011 in kansai」が開催されました。今年も機構の厳しい審査に通られた大阪真空化学(株)、大信機器(株)そして、新規入会の井前工業(株)の三社が出展されました。



表面改質展2011

同じく、5月25～27日インテックス大阪にて同時開催の「表面改質展2011」に(株)友電舎が出展されておられました。



第5回地域防災防犯展

6月9日～10日インテックス大阪にて「第5回地域防災防犯展」が開催され、東日本大震災から日も浅い為か多数方が来場されていて、当会からは、(株)昭電が耐震機器を中心に展示されておられました。



CPhI国際医療原料・中間体展in大阪

7月13日～13日インテックス大阪にて「CPhI国際医療原料・中間体展in大阪」が開催され新会員のマナック(株)が出展されました。

